

第3回 生命科学技术交流会 開催報告

竹田 重寿, 角野 隆志, 猪俣 加奈恵, 河村 麻紀, 松尾 義久

生命科学課

1 はじめに

この交流会は、熊本大学技術部生命科学系技術室と山口大学総合技術部生命科学課に所属する技術職員の大学間人材交流により、各自の持つ技術、業務内容、さらには双方の技術組織についての情報などを共有し、それらをもとに個々の技術職員の知識や技術の向上に繋げ、それぞれが所属する技術組織活性化の種を見出す機会を作ることが目的とする。最終的には各々が所属する大学の研究力向上へのさらなる貢献に繋げることを目標とする。

この度、第3回生命科学技术交流会を開催したので、以下の通り報告する。

2 開催概要

【開催日程】2025年1月30日(木)13:00～15:00

【開催方法】Webex オンライン開催

口頭発表(発表10分+質疑応答5分)

【発表内容】個々の仕事内容や日常業務の中での発見等

3 プログラム

13:00 ～ 13:05 開会挨拶 (山口大学総合技術部 生命科学課 課長 松尾 義久)

事務連絡・司会 (熊本大学技術部 生命科学系技術室 生命資源 WT 中村 直子)

13:05 ～ 13:50 セッション1 : 薬学と農学分野

座長 (山口大学総合技術部 生命科学課 生命医学グループ 角野 隆志)

13:05 ～ 13:20 「附属農場(畜産)の日常業務について」

山口大学総合技術部 生命科学課 農学グループ 竹田 重寿

13:20 ～ 13:35 「熊本大学薬学部薬用植物園における個体管理」

熊本大学技術部 生命科学系技術室 薬学応用 WT 渡邊 将人

13:35 ～ 13:50 「附属農場園芸部門(野菜)の業務紹介」

山口大学総合技術部 生命科学課 農学グループ 高田 暁

13:50 ～ 13:58 休憩

13:58 ～ 14:00 撮影 集合写真

14:00 ～ 14:40 セッション2 : 実験動物と発生医学分野

座長 (熊本大学 生命科学系技術室 生命資源 WT 川辺 正等美)

14:00 ～ 14:15 「進化するフローサイトメトリー」

熊本大学技術部 生命科学系技術室 発生医学 WT 光永 佳奈枝

14:15 ～ 14:30 「床敷の材質の違いによる ポリカーボネート製マウスケージの劣化具合の比較」

山口大学総合技術部 生命科学課 生命医学グループ 角野 隆志

14:30 ～ 14:45 「データベースを用いた動物施設利用料金と支払いに関する情報共有の迅速化」

熊本大学技術部 生命科学系技術室 生命資源 WT 土山 修治

14:45 ～ 14:50 閉会挨拶（熊本大学技術部 生命科学系技術室 室長 田中 栄緒）

4 交流会報告

参加者は山口大学総合技術部生命科学課から松尾義久、山野聖子、大庭淳、中川真喜子、角野隆志、猪俣加奈恵、大園千春、河村麻紀、長砂光治、井上敬之、高田暁、石掛桂土、竹田重寿の 13 名、熊本大学技術部生命科学系技術室から 15 名で計 28 名であった。図 1 は交流会の様子。

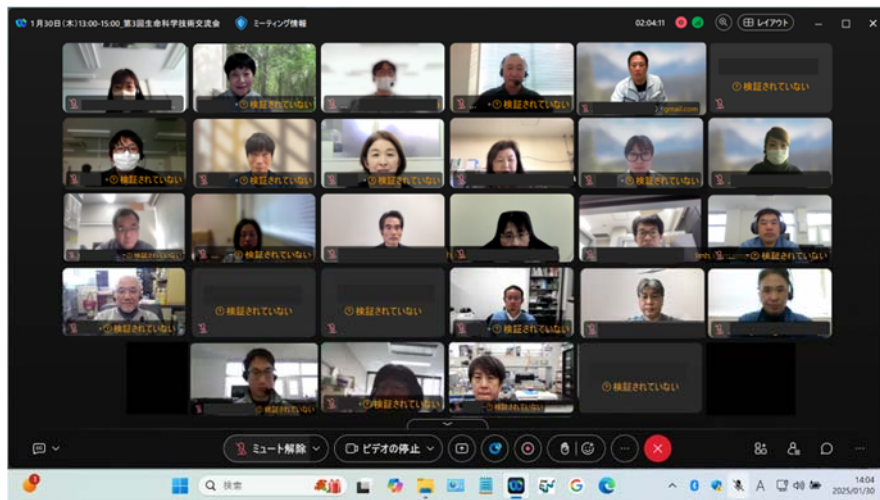


図 1. 交流会の様子

5 おわりに

本交流会の開催にあたって、熊本大学と山口大学の両大学から実行委員 7 名が選出され、山口大学が主催開催することとなった。山口大学からは生命科学課の河村麻紀、角野隆志、猪俣加奈恵と竹田重寿の 4 名が担当となり、話し合いを重ねながら企画運営を行った。特に Webex 操作マニュアルの改訂や大学紹介の動画作成などに注力し、実行委員の創意工夫が詰まった内容となった。また、本交流会初となる熊本大学へのご訪学の機会を得ることができ、12 月 5 日に生命科学課の中川真喜子と実行委員 4 名にて伺った。交流会の打ち合わせ及び職場見学など、人材・技術交流をさせていただいた。開催当日は演者や参加者の皆様のご協力により交流会が滞りなく開催され、また積極的に質疑応答がなされたことで相互理解を深めることができた。

最後に、熊本大学の関係者の皆様およびご指導・ご助言をいただいた皆様に感謝の意を表します。